

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和2年度第1回河内長野市行財政評価委員会 令和2年度第2回河内長野市行財政評価委員会 令和2年度第3回河内長野市行財政評価委員会
2 開催日時	令和2年4月15日(水)～5月29日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面で開催
3 開催場所	—
4 会議の概要	・第5次総合計画前期基本計画の評価について
5 公開・非公開の別 (理由)	—
6 傍聴人数	—
7 問い合わせ先	(担当課名) 総合政策部 政策企画課 行政経営係 (内線339)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 令和2年度第1回・第2回・第3回行財政評価委員会・会議結果

※令和2年度第1回・第2回・第3回行財政評価委員会については、当初、令和2年4月20日・24日・27日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症に係る非常事態宣言が発令されたことから書面での開催に変更となった。

### 1. 案件

(1) 第5次総合計画前期基本計画の評価について

### 2. 書面開催の流れ

#### ①資料の確認・質疑応答

【期間】 4/15（水）～4/24（金）

【内容】 市内部の評価結果等の評価資料について、各委員が内容を確認し、疑問点等を質問票に記入のうえ、提出した。

#### ②施策の評価

【期間】 4/27（月）～5/15（金）

【内容】 評価資料及び各委員からの質問に対する市の回答に基づき、各委員が第5次総合計画前期基本計画の38施策について書面で評価を行い、外部評価表を提出した。

#### ③会議結果の確認

【期間】 5/25（月）～5/29（金）

【内容】 各委員の評価結果を事務局で取りまとめた会議結果（案）について、各委員が確認し、意見書を提出した。

### 3. 会議結果

別紙「第5次総合計画前期基本計画評価・評価結果」の通り、委員会の評価を決定する。また、別紙「住みよさ指標に関する提言」の通り、提言を行う。

## ■第5次総合計画前期基本計画評価・評価結果

No	施策	一次評価	外部評価結果		意見
			二次評価	内訳	
1	危機管理・防災対策の推進	C	C	A 0 B 0 C 5 D 0 E 0	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害が常時化する今日である。コミュニティ単位での災害訓練をテーマ(子ども、障害者、老人)毎に何度も行うべきと思う。</li> <li>○防災に関する意識や組織化に地域差があることや、防災活動参加者の固定化は、やはり気になる。地域相互の交流会を持つことや、そこでの取り組みを評価しあうことも必要かと思う。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症にも対応できる地域防災計画、避難所運営計画も策定していただきたい。</li> </ul>
2	消防・救急・救助体制の強化	B	B	A 0 B 5 C 0 D 0 E 0	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</li> <li>○消防広域化検討会の取り組みは良いと思う。今回のコロナ対策でも救急対応に関しても必要かと思った。すでにしておられると思うが、近隣各市の医師会の協力も必要かと思像する。</li> <li>○消防の広域化については、消防事務委託を含めて、経費と効果を十分に検討したうえで進めていただきたい。</li> <li>○現在起こっている、新型コロナウイルスのような目に見えない物に対しての対策もこれから必要である。</li> </ul>
3	防犯対策の推進	A	A	A 5 B 0 C 0 D 0 E 0	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</li> <li>○防犯カメラのランニングコストの話が出ていたが、設置以降の管理について、地域が何をどこまで責任を負うかを今後考えていく必要があるのだと認識した。</li> <li>○防犯カメラに重点があるように読めるが、それ以外のソフトな方法での防犯や見えにくい犯罪への対応も必要かもしれない。</li> <li>○防犯カメラは街頭犯罪未然防止に効果大であるので、公設の防犯カメラの設置を積極的に推進してほしい。</li> <li>○コロナ関連で、親が仕事でいなくて、子供だけで留守番している家に空き巣が入る事件も増加しているとのこと。臨時休校が長引く時の防犯対策も必要である。</li> </ul>
4	交通安全対策の推進	B	B	A 0 B 5 C 0 D 0 E 0	<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○評価には異論ないが、河内長野市特有の問題というよりは、全国的な問題と思える。</li> </ul> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</li> <li>○高齢者関連の事故については、今後も大事な課題となると思うが、地域交通手段の整備と一体化した課題だと考えるので、課題に対してどこの部署が関わるかというタスクフォースの取り組みも今後は求められるかも知れない。</li> <li>○高齢者への対策がかなり必要と思える。</li> <li>○大津市での保育園児事故を踏まえて園児の散歩コースや小学生の通学路の再点検と不備箇所の改修を図ってほしい。</li> </ul>
5	消費生活の安定と向上	D	D	A 0 B 0 C 1 D 4 E 0	<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○評価に異論はないが、今日のニーズとやっていることが合っていないのではないかと、思える。</li> <li>○指標では、数値が低下しているものの、消費者への啓発・教育は十分に実施されており、C評価が妥当と思料する。</li> </ul> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</li> <li>○小、中学生を対象とした消費者教育のあり方を検討する必要がある。</li> <li>○高校生に出前授業として消費生活講座を設けることも必要かと感じた。</li> <li>○消費者行政の中身のリニューアルが必要ではないか。</li> </ul>

No	施策	一次評価	外部評価結果	
			二次評価	内訳
意見				
6	地域福祉の推進	A	B	<p>【評価の理由】</p> <p>○担い手人材不足と言いつつ、それに対する施策がないのはどうしてなのか。</p> <p>○担い手が育つ仕組みや地域課題を住民主体で抽出し、各方面と連携して取り組み、PDCAをまわす仕組みが作れているかという点では、まだまだ安心してはならないと思う。地域福祉の推進については、今後の地方行政にとって重要な取り組みとなると考えるので、しっかりと地域住民とPDCAを回していく仕組みを構築する必要がある。具体的には、各地域のまちづくり協議会などのような基盤が形成されていること、構成することが難しい地域のバックアップの仕組みができていていることが問われると考える。</p> <p>○評価はできるが、担い手になってくれている市民の努力が成果につながっていると思える。</p> <p>○地域住民の支えあい活動の仕組みづくりは進んでいるが、まだ市域全体には及んでいない。また、担い手不足対策も不十分でB評価が妥当と思料する。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○住みよさ指標では伸びているが、活動の担い手が現実に不足しているにも関わらず、それに対する施策が全くないのは問題ではないか。</p> <p>○担い手となってくれる市民に負うところが大きいので、それをどう支援するか、促進するかの具体的な工夫が必要ではないか。</p>
7	高齢者福祉の充実	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○要介護認定者が減少したということだが、認定基準の改正が影響していないかを見ていく必要があると思う。地域包括ケアシステムも、具体的な事例を検討しながら、システムの評価をしていく必要があると考える。</p> <p>○これからますます重要な分野と思える。幅広い年代の人に関わってもらおう努力も必要だし、高齢者同士支え合うような現実的な計画もあり得るのではないか。</p> <p>○老人クラブの加入者やシルバー人材センターの登録者数を増やすための施策を展開してほしい。</p>
8	障がい者福祉の充実	B	B	<p>【評価の理由】</p> <p>○一つの市で解決できる課題ではないが、積極性が感じられなかったので、C(普通)とした。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○訪問系サービスの増加は、在宅生活支援、地域移行支援の成果と考えても良いかも知れないが、次に各サービスの利便性について、利用者の声を丁寧に聴くことが求められるので、事業者に届けられる意見や苦情を拾い上げることが大切な取り組みになると考える。</p> <p>○雇用など、他の政策との連携も必要と思える。</p>
9	社会保障制度の適正な運営	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○社会保障は、国の施策展開に関わる部分なので、自治体で出来ることも限られてくるようにも見える。そのような中、8050問題や母子世帯など地域で見守ることと個人情報等の守秘問題など課題はあるが、何か取り組みが求められるようにも思う。助けてほしいとSOSを出せる環境と仕組みが求められているのだと思う。</p> <p>○社会保障制度全体を捉えると、一つの市でできる内容ではないと思える。身近な生活の中で結びつくような具体的な提案が望まれる。</p>
10	健康づくりの推進と医療体制の充実	B	B	<p>【評価の理由】</p> <p>○数値は悪くないが、「医療」に重心があるように思えた。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○地域保健医療と運動などの健康づくりの施策がうまく連動していくと良い。</p> <p>○医療に頼らず「健康生活」に結びつく活動を、他の政策とも関連しながら行うといいのではないかと思える。例えば、食育と地産の野菜・果物など。</p> <p>○保健センターなどの機能が集約されることに伴い、市民が利用、活用しやすい施設の設置と運用体制を構築してほしい。</p> <p>○コロナ関係で学ぶことが多くあった。大災害と重なる場合もあるかもしれないので、医療施設、器具、物資など緊急用の対策も必要である。</p>

No	施策	一次評価	外部評価結果	
			二次評価	内訳 意見
11	児童福祉の推進	C	C	<p>【評価の理由】</p> <p>○子ども家庭総合支援に向けて組織を整えようとしておられる点は、もっと評価しても良いかと思った。今後は、学校を基盤として教育と福祉の有機的な展開が求められると考える。</p> <p>○C(普通)でいいと思えるが、指標が指標にならない。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p>
12	子育て支援の充実	C	C	<p>【評価の理由】</p> <p>○指標として、「合計特殊出生率」や「保育所待機児童数」などがあると評価が厳しくなる。「地域の子育て支援者数の増加」や「つどいの広場の運営」なども視野に入れた指標も必要かもしれない。</p> <p>○施策No.11「児童福祉の推進」のためにも、子育て世代全体を支援することが必要と思える。ファミリーサポートセンター事業や包括支援センターなど、積極性は感じる。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○「『子育てのしやすさ』に関する市民満足度」と「合計特殊出生率」は指標として妥当性を欠くと思う。</p> <p>○ファミリーサポートセンター事業や包括支援センターのような事業や組織を、より広く知ってもらい、使ってもらい工夫が必要ではないか。</p> <p>○出生数が年々減少傾向にあるため、子どもを安心して生み、育てられる環境づくりを推進し、人口減少を抑制できる施策を実施してほしい。</p>
13	学校教育の充実	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○人権や教育権の保障という点からは、不登校やいじめの発生数・対応数の指標も必要かもしれない。</p> <p>○システム教育や英語教育の充実など、各学校が取り組んでいることも評価としてはいいかもしれない。教育環境に魅かれて流入する人口が増えたら素敵である。</p> <p>○学校教育は、全国一律で進める事項も多いが、河内長野市のもつ文化や自然の資産を活用できたらいいと思える。</p> <p>○学力向上、体力向上に関する数値目標を設置し、学校教育の充実を図る施策を実施してほしい。</p> <p>○長期臨時休校となり、オンライン教育なども実施されている学校があるが、河内長野市の学校教育はこれからどうしていくのか、早急に考えていかなければいけないと思った。学力差が大きく出てくる可能性がある。</p>
14	青少年の健全育成の推進	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○青少年という対象が小中学生という印象を受けた。今後は、もう少し年齢層を広く想定した取り組みが求められるような気がする。</p> <p>○児童の放課後を地域全体で見守ることが、今後さらに必要とされるだろう。青少年のライフスタイルは、大きく変わっていると思うので、「健全育成の担い手」が固定化しないような工夫も必要か。</p> <p>○子ども会活動が停滞していますが、子ども会活動に対する支援を強化し活性化を図っていただきたい。</p>
15	生涯学習の推進	C	C	<p>【評価の理由】</p> <p>○要求課題ばかりに目を向けず、社会の必要課題に対応した生涯学習への転換が必要である。</p> <p>○評価は妥当と思う。生涯教育＝図書館、公民館といった施設だけではない時代になっているということではないか。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○単なる余暇、教養プログラムから脱して、地域コミュニティ全体の再生を課題としたプログラムを開発されることを期待する。</p> <p>○社会教育施設の新たな役割や機能が求められていることが良くわかった。地域の住民を巻き込むセツルメントのような活動が再び求められているように思った。</p> <p>○河内長野市の自然や文化などの豊富な資源との相乗効果が望まれる。</p> <p>○生涯学習の学びの成果が、地域の課題解決やまちづくり活動に活かせる仕組みを構築してほしい。</p>

No	施策	一次評価	外部評価結果	
			二次評価	内訳 意見
16	歴史文化遺産の保存・活用及び文化芸術の振興	C	C	<p>【評価の理由】 ○がんばっているが、数値が上がらない部分があるように思える(そもそも文化は数値化しづらい。)</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】 ○歴史文化遺産の保全活用と文化芸術の振興は章か節を分けて区別して評価すべきと思う。 ○河内長野の歴史文化遺産は、市民だけのものではないので、市外への広報等が欠かせないと思える。他の政策との連携が必要。あるいは、この項目が生涯教育の範囲に入っていることに無理があるのかもしれない。 ○「歴史文化遺産の保存活用」は、施策No.33「観光の振興」と一体化し、観光面での活用を推進する。「文化芸術の振興」はひとつの施策として切り離してはどうか。</p>
17	生涯スポーツ活動の振興	D	D	<p>【後期基本計画に向けた提案】 ○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。 ○健康は強者ばかりが対象ではなく、健康弱者を対象とした施策も開発されるべきである。 ○「『スポーツ施設や活動などの環境』に関する市民満足度」は指標として妥当か疑問である。 ○施設の管理運営上の課題や再編成、他部署との連携など、必要な課題はあぶりだされていると思った。今後は、具体的な検討と、住民からのニーズと、どこでミスマッチを起こしているのかなどの検討が必要というところか。 ○施設に関する記述が多いが、市民のためのスポーツは、施設に頼らない部分も多いように思う。 ○子どもから高齢者までが、一同に楽しめるスポーツ施策が必要と思う。</p>
18	人権と平和の尊重	B	B	<p>【評価の理由】 ○共に生き、共に支えあう、地域社会を形成する為の、地域を対象とした取り組みをもっと強力に進めるべきでは。 ○評価が難しい項目だが、そう積極的に思えなかったためC(普通)とした。評価の指標で見えることは、大多数は無関心だが、熱心な人は非常に熱心、ということだろうか。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】 ○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。 ○平和や人権というテーマは、発信し続けることが必要かと思う。 ○人権も平和も、従来よりも広い意味合いを持っていると思える。抽象的なものを何か具体的なものとして示す工夫があれば今日的課題になり得ると思う。</p>
19	男女共同参画の推進	C	C	<p>【評価の理由】 ○評価に異論はないが、指標が2つだけだとあまり指標にならない。まずは市職員の構成比や管理職への登用状況などが示されるべきと思える。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】 ○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。 ○宛て職が多いため、女性が増えない場合の方策が見えない。当該団体への啓発が必要か、場合によっては女性の選出を依頼するなどの対策が必要では。 ○すでに啓発行事でOKな時代ではないように思える。具体的に参画できる場を設け、仕掛ける工夫が望まれる。女性向けの施策だけでなく、男性が従来は男性らしくないと受け取られる分野を担うことへの支援があってもいいかもしれない。 ○女性の社会参画の推進を図るため、庁内だけでなく、企業などの民間に対しても、女性の採用、登用、活用の促進を働きかけることも必要と思う。</p>
20	多文化共生と国際交流の推進	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】 ○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。 ○地域社会に住む外国人住民との交流をしている住民の数か比率を指標としてはどうか。 ○取り組みの方向性について、移住してこられた方々の課題に対応することも今後は必要か考える。 ○河内長野市の歴史文化を生かして交流するなど、他分野との連携が可能では。</p>
21	自然環境の保全・活用	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】 ○今後も河内長野市の強みとして、取り組んでいただきたいと願う。 ○川の清掃や外来生物対策だけだと、もったいない感じがする。河内長野市は自然が豊かなので、積極的な取り組みが可能と思える。 ○豊かな自然環境を生かし、活用するような施策が望まれる。</p>

No	施策	一次評価	外部評価結果	
			二次評価	内訳 意見
22	循環型社会の構築	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</li> <li>○地域ごとのリサイクル率や、ごみの排出者のデータは出ないのか。地域比較ができる市民にとってインパクトがあると思う。</li> <li>○今後も河内長野市の取り組みとして大事な施策と考える。</li> <li>○河内長野だけの問題ではないので難しいが、循環型社会はゴミやリサイクルだけではないように思える。</li> <li>○間伐材を利用したバイオマス発電の調査研究を進めるなど、間伐材の有効活用に関する施策を実施していただきたい。</li> </ul>
23	快適な生活環境の確保	B	B	<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○評価に異論はないが、評価の指標になっているものは、今日では満たして当たり前と思えるものが多い。</li> </ul>
24	魅力的な景観の形成	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市全体ではなく、地域コミュニティごとの満足度を出し、比較できるようにしてはどうか。</li> <li>○「景観に関するルールの策定件数」は他の指標へ変更すべき。</li> <li>○施策の表題「魅力的な景観の形成」と、まちの美化に関する具体的な部分には少々ギャップを感じる。</li> <li>○景観という用語が非常に幅広く使われているので、整理が必要ではないか。広く文化景観や自然景観に関しては、歴史文化などの施策との連携(統合)が必要。</li> <li>○単独の施策項目としてではなく、「環境」や「文化財」の施策項目に分割してはどうか。</li> </ul>
25	市街地整備の推進	D	D	<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市街地整備事業は、努力してもできないときはできないと思える。「市街地整備の推進」という施策がかなり漠然として、評価が難しい。</li> </ul> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「市街地整備の件数」は指標を変更すべき。</li> <li>○指標の評価を見ていると妥当ということだが、課題とされているところを見るとエリア全体の方針は、とても大事な取り組みだと思った。</li> <li>○コンパクトシティへの対応が望まれる。河内長野は、地形的にも集約と連携が大事と思う。具体的な展開が望まれる。</li> <li>○市街地整備は、立地適正化計画などにに基づき、関係機関などと連携協力のうえ、事業を進めてほしい。</li> </ul>
26	住宅環境の充実	B	B	<p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指標と目指すところがあっているとは言えないが、一定の効果はあると判断できる。</li> </ul> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティごとの満足度を出すべき。</li> <li>○「社会動態の転入者/転出者の率」は指標を変更すべき。</li> <li>○持ち家率の高い市だったと思うので、私財の扱いということになるが、空き家対策は、今後重要な課題になると思う。</li> <li>○今展開されている住宅施策には、直接的に子育て世帯に働きかけるものは多くないように思える。住宅環境は、住宅だけの問題ではなく、周辺の状況との関連もあるが、若年層に響く施策があればと思う。</li> <li>○若年層の定住・転入の促進は、住宅政策だけでなく、子育て支援事業と連携のうえ推し進めてほしい。</li> </ul>
27	公園・緑地の整備	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティごとの満足度を出すべき。</li> <li>○公園をどのように活用するか市民の方々と話し合いが持てたら良いと思う。</li> <li>○自然豊かな地域に富む河内長野での「緑地」への期待は、他地域とは異なるのではないかと。</li> <li>○花壇づくりなどの活動は、「施策No.24魅力的な景観の形成」の範囲かもしれない。</li> </ul>

No	施策	一次評価	外部評価結果	
			二次評価	内訳 意見
28	道路基盤の整備	C	C	<p>【評価の理由】</p> <p>○道路に関しては、一つの市だけでできない部分が多いように思う。</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○国の施策に関わる部分での評価指標が低いため、市の取り組みによる市民活動の活性化が評価されないかたちになって残念である。基盤道路の整備は、河内長野市民にとって大事な施策なので頑張してほしい。</p> <p>○アドプト・ロード・プログラムは、道路基盤の整備だけでなく、地域への理解や愛着の醸成に役立つものと思える。他分野と連携して行くと効果が上がるのではないかと思える。</p> <p>○橋梁長寿命化修繕計画は、資金面の制約もあるが、大規模地震発生確率が高まっており、早期の対策が必要と思料する。</p>
29	公共交通の充実	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>A 0 ○公共交通の在り方については、今後の技術的な進歩に期待したい。</p> <p>B 0 ○いろいろな要因でバス等の利用者は伸びないのだと思えるが、サービスと利用者の関係は、ニワトリと卵の関係と思える。これからの高齢社会では、何らかの公共交通の確保が必要なので、努力を期待したい。</p> <p>C 5 ○買い物などの移動支援を必要とされる高齢者が増加しており、これら高齢者への支援策を検討する必要があると思う。</p> <p>D 0</p> <p>E 0</p>
30	上下水道の整備	B	B	<p>【評価の理由】</p> <p>A 0 ○上下水道の維持管理は、今や当たり前すぎて、評価が難しい。だが、大切なインフラなので、継続的な努力を評価したい。</p> <p>B 5</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>E 0</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○事故を起こさないため、計画的な更新も含めての維持管理が必要と思える。</p>
31	商工業の振興	B	B	<p>【評価の理由】</p> <p>A 0 ○全体として商工業者への施策が述べられており、評価の指標として、市民(消費者)への「商業地の賑わい」への満足度を問うのは合っていないと思える。商工業者への施策として、評価に異論はない。</p> <p>B 5</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>E 0</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○市内事業者が市外へ転出する事案が増えており、転出を防止するための施策を充実していただきたい。</p>
32	農林業の振興	C	C	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>A 0 ○実施状況を見ると新たな取り組みがみられるので、そのあたりを評価できないかと思った。</p> <p>B 0</p> <p>C 5 ○農業の持続は、高齢化などもあって難しい面も多いが、今日、食の安全や地産地消など、追い風となる要素もある。観光や子育て世代への支援など、他の施策との連携で、可能性が見出せるのではないか。</p> <p>D 0 ○農林業とひとくくりにするのではなく、「農業」と「林業」に区分し振興策を考えても良いの</p> <p>E 0</p>
33	観光の振興	B	B	<p>【評価の理由】</p> <p>A 0 ○日本遺産や豊かな自然など、魅力的な資源に富む。努力は感じられるが、一層の発信力が望まれる。</p> <p>B 5</p> <p>C 0</p> <p>D 0</p> <p>E 0</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○市外からの来訪者がどのような活動をしているのかを分析することが求められると思う。</p> <p>○日本遺産認定も、惜しいがあまり知られていない(日本遺産というしくみ自体、知られていないが、うまく観光戦略に使っている所もある。)。他地域への情報発信への強力な施策が必要かもしれない。</p> <p>○施策No.16の「歴史文化遺産の保存活用」と一体化させて事業を展開してはどうか。</p>
34	雇用の確保と就労・労働環境の充実	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>A 0 ○今回のコロナウイルス感染の影響によって在宅勤務体制が進むと思う。そのような整備が進むことで、自然豊かな町に住みたい人が出てくると良いと思う。</p> <p>B 5</p> <p>C 0 ○地場産業の振興と関連しての「雇用」なので、何か、地域特性を活かした施策が展開できればと思う。施策No.33「観光の振興」や、施策No.32「農林業の振興」との連携など。</p> <p>D 0</p> <p>E 0</p>

No	施策	一次評価	外部評価結果	
			二次評価	内訳 意見
35	都市ブランドの構築と魅力発信	C	C	<p>【評価の理由】</p> <p>○発信力の強化は重要と思える。施策の展開で、「移住者等の受け入れ体制の整備」はここにあるべきかどうかは不明。</p> <p>A 0 B 0 C 5 D 0 E 0</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○都市ブランドを表すタグラインを検討することも面白いかもしれない。</p> <p>○情報の発信方法が多様化しているので、対応できる人材が必要。発信する内容はいっぱいあるので、見せ方の戦略を。</p> <p>○河内長野市が目指す「都市ブランド」とはどういうものかを明確に市民に示す施策を実施していただきたい。</p>
36	協働の推進と地域コミュニティの活性化	C	C	<p>【評価の理由】</p> <p>○地域コミュニティは活発になっている面も多いと思えるが、自治会など従来型のコミュニティは、時代に合わないのかもしれない。評価の指標がそれを示しているように思う。</p> <p>A 0 B 0 C 5 D 0 E 0</p> <p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○地域コミュニティ単位の取り組みとして進めるべきと思う。</p> <p>○教育、福祉、防災、防犯、産業などと多角的に取り組む総合型住民自治協議体の形成への取り組みが未だに低調である。</p> <p>○まちづくり協議会や地域の団体も視野に入れた社会福祉協議会の取り組みの推進が求められると思う。</p> <p>○「協働」や「地域コミュニティ」はこれから欠かせないキーワードだが、市民のライフスタイルや求めているものとの合致が不可欠。子育てや高齢社会などの施策との関連も必要ではないか。</p>
37	効果的・効率的な行政運営の推進	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○職員の方の資質向上のために、取り組まれた内容について、どのような内容で、何が課題なのかが可視化されると良いと思う。</p> <p>○効率を求めた改革が進行中と思えるが、一方で、災害や緊急時への備えも重要。ギリギリを目指すのではなく、いざという時の地域連携など、クラウド的な施策が重要では。</p> <p>A 0 B 5 C 0 D 0 E 0</p>
38	健全な財政運営の推進	B	B	<p>【後期基本計画に向けた提案】</p> <p>○税金を払っても、暮らしの満足度が高ければ、市民はバランス良い収支と思えるので、計画的に財政運営を進めることは大事だが、この項目の評価は、他の施策がうまくいっているかどうかの指標、とも言える。</p> <p>A 0 B 5 C 0 D 0 E 0</p>

## 住みよさ指標に関する提言

河内長野市行財政評価委員会  
委員長 中川 幾郎

河内長野市行財政評価委員会で毎年度実施している河内長野市第5次総合計画・各38施策の評価では、とりわけ、住みよさ指標に関する意見があがっています。

これらの意見は、各施策に全般的に当てはまると思われる内容も多々あったため、下記のとおり、「住みよさ指標に関する提言」としてまとめました。

今後、後期基本計画を策定するにあたり、以下の観点から指標の見直しを検討し、必要に応じ、修正を行うよう提言します。

### ①市民満足度の指標について

市民満足度を各施策の指標に設定しているが、以下の理由から、施策目標の達成度を測るための指標として適切であるか疑問であり、見直すべきである。

- ・満足度は、世相など、市単独の努力でコントロールすることができない外的要因の影響を大きく受けるものである
- ・満足度という用語がそぐわない施策もあり、定型として満足度という用語を使うべきではない。
- ・満足度の前に、施策が市民にどれだけ認知されているのかわからない。
- ・国、府、市の役割を理解したうえで、市民が市の施策を評価しているのか疑問である。

### ②外部要因の影響が大きい指標について

外部要因による影響が大きく、市単独の努力で数値を動かすことが難しい指標については、施策目標の達成度を測るための指標として適切であるか疑問であり、見直すべきである。

- |     |                           |
|-----|---------------------------|
| (例) | ・「生活保護の稼働世帯の割合」(施策 No. 9) |
|     | ・「合計特殊出生率」(施策 No. 12)     |

### ③アウトプット指標（活動指標）の設定について

施策によっては、設定されている指標がアウトカム指標（成果指標）に偏っている場合がある。経年課題に対して、PDCAをまわし、改善に取り組んでいる内容を確認するためにも、施策目標達成に向けた取り組みの中間指標として、支援策などのアウトプット指標（活動指標）も追加するよう検討すべきである。

- |     |                   |
|-----|-------------------|
| (例) | ・施策 No. 31 商工業の振興 |
|     | ・施策 No. 32 農林業の振興 |

#### ④目標値の設定について

既に中間目標値を達成している指標については、目標値のハードルが低く設定されている場合も考えられ、上方修正するなど見直しの検討が必要である。一方、目標値と実績値が大きく乖離している指標については、原因分析し対策をとることが必要であるが、社会状況の変化などにより実態と合わなくなっている指標については、目標値の下方修正なども検討すべきである。

#### ⑤住民自治の推進と指標の設定について

すべての施策において、行政が担う分野と住民自治が担う分野とが存在するはずである。施策を正確に評価するうえでは、団体自治と住民自治の役割分担を明確化したうえで、それぞれの成果を測る指標が設定されているべきである。住民自治の活性化に向けた施策の展開を図るとともに、住民自治の成果を測る指標の設定を検討すべきである。